



3/13

四季を感じて5・7・5

俳句日本一へ向け、活動成果を報告

俳句日本一を目指す教育活動を行っている市立高清水小学校（内山祐子校長）の児童11人らが市役所を訪れ、全国や県の俳句大会での入賞を小山田市長に報告しました。

県内の俳句大会で最高賞を受賞した中野十治郎くん（3年）は「これからも1位を目指して頑張りたい」と意気込みを見せていました。児童らは「季語もたくさん覚え、遊んでいる時でも俳句が浮かぶようになりました」とうれしそうに話しました。



各大会で入賞し、贈られた賞状を手に笑顔を見せる高清水小児童の皆さん



会場満席となる約300人を前に、まちづくりに対する思いを話す中野渡さん

3/10

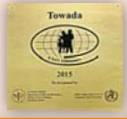
市出身者、中野渡さんがふるさとで講演 地域づくり講演会

人材活用事業の一環として、市が主催する「地域づくり講演会」が市民文化センターで開かれました。

講演会は、先ごろ市企業誘致支援大使に任命された（株）東京組代表取締役会長の中野渡利八郎さんが講師を務め、「波乱万丈の人生～会長が語る成功の秘訣～」と題して講演が行われました。中野渡さんは、自身の生い立ちを振り返りながら「頑張ることができるのは、まちをきれいにしたいという思いがあるから」と話しました。

Pick Up

安全・安心なまちづくりへ決意を新たに セーフコミュニティ再認証式典



世界保健機関（WHO）からセーフコミュニティの再認証の内定を昨年12月に受けていた本市は、2月27日、市民文化センターで式典を開き、関係者や市民ら約600人が出席、再認証の取得を祝いました。

本市は、平成21年8月に国内2番目となる認証を取得。5年間の認証期間満了を迎え、昨年12月に行われた審査員による現地審査などを経て、再認証されました。

オープニングセレモニーでは、みきの保育園園児による交通事故予防の誓いの発表や市立第一中学校の生徒が日本一を目指す奉仕活動について、寸劇を交えて紹介したほか、セーフコミュニティイメージソング「今日も無事でいてほしい」がシンガーソングライターの桜田マコトさんらにより披露されました。

式典では、小山田市長ら関係者が合意書に署名し、認証審査員で韓国セーフコミュニティ支援センターの超塚俊所長が本市の再認証取得を宣言しました。小山田市長は「今後もセーフコミュニティの取り組みを強化し、真に安全・安心なまちづくりに努めていきたい」と式辞を述べました。



セーフコミュニティ認証旗を手にする小山田市長ら関係者の皆さん



◀「奉仕の心（志）日本一を目指して」をテーマに掲げる第一中。寸劇や写真で取り組みを紹介

同時開催された「十和田市安全・安心展」。多くのかたが訪れ、各団体の展示パネルなどを眺めていました

